

～明治30年(1897年)創立 地域に根ざした120年を超える伝統校「茨城県立結城第一高等学校」～

元気・前向き・結城一！ 夢をつむぎ未来を織りなす 結城一高 「3つのできる」

(1)「就職ができる」「進学ができる」プラス「外国人生徒等へも支援ができる」

- ＜就職＞ 地域企業を中心に就職指導〔就職率100%(学校推薦希望者)〕(R2年度卒業生)
- ・求人票数は600社以上⇒就職希望者70人が全員内定
 - ・主な就職先 エコス、カワチ薬品、セキショウモバイル、ヨロズ栃木、JA北つくば、月島食品工業、小松崎病院 L I X I L 中野冷機 日本無機 フジシール ユニバーサル製缶 コマツ物流 日本ハムファクトリーなど
- ＜進学＞ 学校推薦型(指定校・公募)入試を中心に進学指導〔進学率100%(学校推薦希望者)〕(R2年度卒業生)
- ・指定校数は4年制大学は37校、短大は21校、専門学校等は多数⇒進学希望者32人が全員合格(4大8人、短大1人、専門等23人)
 - ・主な指定校 4大…足利大、宇都宮共和大、作新学院大、筑波学院大、流通経済大、ものづくり大、群馬医療福祉大など
短大…國學院大學栃木短大、足利短大、佐野日本大学短大、つくば国際短大、常磐短大など
- ＜外国人生徒等への支援＞
- 日本語を母語としない生徒も安心して学校生活を送り、意欲的に学習に取り組めるよう、外国人生徒支援コーディネーターを配置
- ・業務内容…ソーシャルワーカー的業務：生徒指導、保護者対応、学校生活のための手続き等を支援(通訳・翻訳等)
カウンセラー的業務：学習面・生活面での生徒の相談体制を構築 など

(2)「3つのできる」を進めるために

- ＜学習面＞ 多彩な習熟度別学習等の実施(R4～)(予定)…実施する教科が変わることもあります。
- ・基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力を身に付ける → 1年：国語・社会(公民)・数学・英語、2年：数学・英語
 - ・ハイレベルな授業を実施し、発展的な力を身に付ける → 2・3年：英語
 - ・検定試験の受験料に、一部補助をします(R3～) → 英検、数検、漢検の2級取得者で、準1級以上受験者
- ＜生活面＞ プロジェクト・アドベンチャー等で自己有用感を育みながら、成功や失敗体験を重視した人間関係づくり(1・2年)
- ・生徒同士が活動の中で日本文化にも触れながら、人間関係づくり(日本人の生徒も外国人の生徒も一緒に活動)
- ＜部活動＞ 運動部は11部、文化部は7部を設置(R3)
- ・スポーツや文化などに親しみながら、学習意欲を向上、責任感や連帯感も育成
 - ・これまでに、多くの人が部活動によって生涯の友人得たり、社会経験を積んだりしています

〔運動部〕

硬式野球部 サッカー部 陸上競技部 ソフトテニス部 バレーボール部 バドミントン部 卓球部 柔道部
剣道部 バスケットボール部 水泳部(地域振興部)

〔文化部〕

吹奏楽部 美術・コミックデザイン部 茶道部 つむぎ部 書道部 JRC部 弁論部(地域振興部)

※ 太字は予選を勝ち県大会に出場した部、特色ある部

【問い合わせ】 結城第一高等学校(上形、篠崎)
(住所) 〒307-0001 結城市大字結城1076
(電話) 0296-33-2141 (FAX) 0296-33-6703 (メール) koho@yuki1-h.ibk.ed.jp

詳しくは本校のHPをご覧ください。 [結城一高](#)で検索

県大会等に出場した生徒、特色ある部活で頑張っている生徒のコメント(R3)

陸上競技部(800mと1500mで出場) … (下館南中)

中学時代は短距離が専門でしたが、高校で中距離(800m、1500m)に変えました。2年生の時に、けがをして半年以上全力で走れない時期がありました。その間は、ライバルや先生方に助けられて、乗り越えることができました。本当に感謝しています。常に本番をイメージして、練習に取り組んでいます。最後は悔いの残らないよう全力で大会に臨みます。

ソフトテニス部(ダブルスで出場) … (二人とも下館西中)

このペアで試合に出るのは初めてでしたが、お互いに「つなげること」を心がけて、試合に臨みました。そのことがよい結果につながったのだと思います。県大会では、動きのレベルが高く、とても参考になりました。今後、サーブの正確さや粘り強さを身につけて、さらに高いレベルを目指します。

バドミントン部(ダブルスで出場) … (下館西中・八千代東中)

高校に入ってからバドミントンをはじめました。最初は難しいと感じたこともありましたが、技術を身につけていくのは、本当に楽しかったです。ダブルスでは、ペアを信頼していくことが大切だと思います。足りなかった部分を練習で補って、頑張ります。

水泳部 … (東陽中)

水泳で楽しかったことは、タイムがあがったときはもとより、友人とともに水泳が続けられることです。また、目標としている大会は、200mと400mの個人メドレーで関東大会に出場することです。(6月の県大会で200mは2位、400mは1位となり関東大会に出場)
遠方からの通学で片道ではありますが21kmもあります。電車で通うこともできましたが、「体力面、精神面を鍛えるため、頑張れるところまで頑張ってみたら」との両親の一言から、この通学方法を両親との約束と決め、今でも頑張っています。

つむぎ部 … (結城中ほか3人)

ユネスコ無形文化遺産である結城紬を織る伝統的な部(平成元年発足)です。毎年1月までに週2回計30回程度6人の伝統工芸士の先生方から指導を受けています。

卒業制作で作るものは決めていませんが、精一杯がんばりたいです。自分でできるように技術を向上させたいと思っています。

弁論部 … (結城中・大谷中・小山城南中)

弁論の魅力は、自分の意見をしっかりと主張できること、その際、自分の考えを感情に表し、表現できることです。大変なところは、テーマづくりと弁士としての表情づくりです。そして、大変だけど楽しいことは、技術を磨くために、他校の生徒の秀でた技術を体得すること、そして、その技術と自分らしさを兼ね備えた表現する力を身に付けられることです。

今は、秋の県大会で最優秀獲得を目指して頑張っています。

学校見学会のお知らせ

10月及び11月の土曜日または日曜日に、本校にて**学校見学会を開催**します。詳しくは、9月中旬を目途に本校のHPでお知らせいたします。ご不明な点がございましたら、上形教頭または篠崎教務主任にお尋ねください。

なお、設定した土曜日または日曜日のほか、**平日(10～15時)であれば学校見学が可能**です。ご来校の際は事務室にお声かけください。

生徒の活躍や先生方の熱心な指導の様子などを、本校HPの「**校長室から地域みなさまへ**」の中で紹介しておりますので、よろしければご覧ください。**結城一高**で検索